

特集

下降期慢性 “具合”を よくする

ジェネラリストだから
できること!

企画 | 藤沼康樹

疾患患者の

高齢社会日本におけるプライマリ・ケアの現場は、医療の入り口であると同時に、最期のよりどころにもなりつつあります。特に在宅医療においては、医療受容度の高い在宅患者が増加傾向にあります。つまり、一般外来や在宅医療に携わっている総合診療医にとって、慢性疾患の下降期から終末期を診るための知識と技術が、高いレベルで求められるようになっていきます。下降期慢性疾患は、適切な治療により進行を遅らせたり、病態を改善させることが可能な場合も多々あります。症状緩和にとどまらない医療が求められる領域でもあり、本特集では、そうしたニーズに資する内容を目指しました。

今月の Questions

- Q1 下降期のCOPD患者管理における注意点は? >>> 666
- Q2 COPDの予後を予測する際に、身体所見で留意することは? >>> 670
- Q3 慢性呼吸不全患者の苦痛症状にはどんなものがあるか? >>> 673
- Q4 在宅酸素療法を正しく使うコツとは? >>> 677
- Q5 下降期慢性呼吸不全患者に在宅呼吸療法を導入する場合の注意点は? >>> 680
- Q6 進行期の慢性心不全の病態で留意することは? >>> 683
- Q7 慢性心不全の予後予測についてのプライマリ・ケア医の直感は、正確か? >>> 687
- Q8 下降期心不全において出現する各症状の治療を行う際に、重要なことは何か? >>> 690
- Q9 心不全患者における低酸素血症以外の在宅酸素療法の適応は? >>> 693
- Q10 慢性心不全において、入院管理を検討する時は? >>> 696
- Q11 慢性腎臓病で専門医へ紹介すべき状況は何か? >>> 699
- Q12 患者が意思決定ができるかどうかは、どのようにして判定できるか? >>> 702
- Q13 どのような場合に、意思決定能力の判定をすべきか? >>> 702
- Q14 CrとeGFRの使い分けは? >>> 706
- Q15 下降期腎不全患者の薬剤処方では注意する点は何か? >>> 710
- Q16 尿毒症症状や浮腫に対しては、どのように対応すればよいか? >>> 714
- Q17 進行したParkinson病患者の薬物療法で、留意すべきことは? >>> 717
- Q18 認知症の行動・心理症状 (BPSD) には、どのように対処すべきか? >>> 721